

教育問題

問 地域力を養う学校教育は

答 保育園、幼稚園と連携し進める



太田 修 議員

【村長公約の進捗状況と  
予算対応について】

**問** 地域力を養う学校教育は。

**村長** 野沢温泉村では、実態調査の結果を踏まえ、

**問** 園長と各小学校長が連携して新教育システムを構築し、保小中一貫教育・高校連携教育を4月にスタートします。当村も小・中学校と高校の連携を図り、出前授業や学校訪問等を進めるとともに、保育園や幼稚園とも検討を進めます。滞納金の徴収方法と対策は。

**村長** 地方税法は、納期までに納入がないときは督促状を発し、10日を経過し完納しない場合は、財産の差し押さえを行う規定です。時効防止が重要であり、新システムを導入し活用しています。

**問** 定住者確保につながる雇用対策は。

**村長** 資源の有効活用で観光産業の活性化を図り、

**村長** 雇用の受け皿である索道業者や宿泊、飲食、商業、建設など、村内業者の元気を取り戻す施策が近道と考えます。地域経済を活性化し雇用確保に向け、観光商工費2億円余、特産品開発助成金250万円、EV充電器普及関連事業6百万円、リフォーム補助金2千万円等を当初予算に計上しました。

**問** 主要観光戦略事業は。

**村長** 国の直轄委託事業で、八方池までの遊歩道付

け替え整備、親海湿原の木道改修、奈良井自然公園整備の予定です。26年度末の北陸新幹線の金沢延伸を見まえ、滞在型の施策として三市村観光連絡会（大町・白馬・小谷）で県の元気づくり支援金を活用し、今夏に小谷村から扇沢駅間のバス運行を行います。

**問** 旧岳の湯の改修計画と運営方針は。

**村長** 通所介護施設として、

**村長** 秋頃に開所を予定しています。運営は指定管理者の公募によらない選定で、管理事業者からの申請及び事業計画書の審査後、議決を得るものです。

【公害防止条例の  
制定計画について】

**問** 水質汚濁及び深夜騒音等に関する条例制定は。

**村長** 地区懇談会では、生活排水による水源汚濁や、

河川へのゴミ投棄等による水路詰まりが問題との意見があり、片づける労力にも限界があるとの声もあります。また、外国人観光客の増加等で深夜騒音の苦情もあり、警察、役場、観光協会、関係区長と外国人

共生対策会議を開催し、警察署などと連携して生活マナーと迷惑行為への注意喚起の英語版チラシを配布しました。水質汚濁や迷惑行為には地方事務所と協力し厳正に対処し、条例制定は考えていません。



雪落としをする住民ボランティア